



百年塾へ いらっしゃ〜い

百年塾は市民の生涯学習です。百年塾は7つのテーマで進めています。それぞれのテーマをみんなで実現するために、5つの部会と2つの研究グループが担当しています。部会の役割と新人の委員の声を聞きました。

出会ったときが はじめの一步

市民教授はネットワーク

市民教授部会では共に学びあう活動をしています。地区別の「市民教授ネットワーク」、「百年塾フェスタ」、茨城大学工学部での「市民教授特別講義」、市民教授や推進委員が百年塾を共通理解するための「市民教授のつどい」などを行っています。

市民教授900名の活動率も、昨年10月の調査で95%になっています。コミセンでの活動、公民館の市民講座などへ協力しながら、より生き生きとした活動を目指します。

●市民教授やネットワークのサブリーダーとしての経験を活かして、広報活動などフットワークを効かせた自分なりの方法を見つけていこうと思います。(根本 裕美)

地域の特性を活かす

学校教育部会では事業指定校を積

極的に進めてきました。平成6年度からは幼稚園も、この事業に加わり地域の生涯学習施設として重要な役割を果たしています。

市民教授や、地域の人たちが学校の教育現場に参加したり、子供とお年寄りが一緒に参加する行事、先生



豊浦小の4年生
車椅子の体験をしました

を講師に行われる講習会など、地域の特性を活かして楽しい事業が行われています。

この事業は学校を理解するよい機会になるとの声が届いています。

●学校教育部会ということばを聞いたときは固いイメージに戸惑いましたが、フェスタなどを通して素敵な人たちとの出会いがあり、今はなん

て楽しい部会だろうと思います。思ったことを自由に語り安心して活動できます。(新居 陽子)

気軽に 自由に 楽しく

事業部会は、百年塾全体に関わる事業を行なっています。平成8年度は研修の一つとして「百年塾推進委員座談会」を開き、百年塾が目指すところの共通理解と、魅力ある活動をすすめるための課題などを話し合いました。

部会の集まりでは、それぞれの立場から自由で活発な意見交換や提案がされています。自分の意見が一つずつ形になっていくのはとてもうれしいものです。

「百年塾ってなあに」「何かやってみようかな」と思ったときがあなたの生涯学習の第一歩です。

●3年前、「お手伝い程度なら」くらいの気持ちで始めました。部会の生き生きとした話し合いの中から、少しずつ自分なりに「生涯学習」を理解できるようになりました。(山極 洋子)

見つけよう もうひとりの自分

小委員会で有効に

「市民と企業が共生するまち」を進めるため、市民と企業と行政が活発に話し合いをしています。このテーマを担当しているのが企業部会です。

部会を構成しているメンバーは現役のサラリーマンが多く、会議は時間のやりくりをしながら進めています。有効に運営するため小委員会方式を取り入れました。「PRチーム」「小冊子チーム」「イベントチーム」が、それぞれが分担して仕事を進めています。

3月26日(水)には、企業人による百年塾フォーラム「私のボランティア」を予定しています。

●活動してすぐに結果が出るという



退職者への百年塾をPR

ものではありませんが、静かな歩みがやがて花咲くことになると思います。企業人の個人的活動をし易くするために働きかけていきたいと思っています。(桧山 紀子)

働く女性 自分らしく

仕事、結婚、そして、夢。さまざまな現実を前にして、年代や立場の違う女性たちが、それぞれに抱えている問題や、日常の些細なできごとをざっくばらんに話し合い、自己実現に向かって励ましあいながら頑張っていこうとするグループです。平成8年度は独身男女が、料理しながら楽しいひとときを過ごした「ワインパーティ」と、「あなたらしく、私らしく」というテーマの講演会を開催しました。



料理しながら話題は夢

タイムリーな情報 届けます

百年塾が目指すものや実践されていることなどの情報をできるだけ多く、早く、わかりやすく市民の皆さんに伝えるのが広報部会の役割です。

「百年塾ひろば」を年5回発行、全世帯に配布しています。百年塾の各種事業や活動の様子はもとより、さまざまな場所で集い、学びふれ合うひとびとの、生き生きとした姿を紹介。「ひと」に視点を合わせた親しみやすい紙面づくりを心掛けています。市報に毎月1

回掲載の「市民教授紹介コーナー」のほか、PRビデオ、リーフレットの作成も担当しています。

また昨年度から継続の研修会は、PTAを中心に市内の広報担当者が一堂に会し、広報のノウハウを学んだり、苦労したことや嬉しかったことなどを話し合ったり。共によりよい広報紙づくりをするために、市民の広報活動の支援にも努めています。

書くことや編集の好きな方、一緒に広報紙を作ってみませんか。

●働く女性が心身ともに快適に過ごせるように、じっくり取り組んでいきたいと思っています。(岸 律子)

定年後も生き生きと

「定年！長い勤めがやっと終わった。今日からは毎日が自由。さあ！これから人生を楽しもう。」しかし、残念ながらこの様に生き生きとした人生を送っている人は非常に少ないのです。

熟年研究会は、「定年後を生き生きと楽しく生きる、社会の役に立つ」

ことを目的としたグループです。

今年度は、ボランティアについての学習会と交流会を行いました。来年度は学習内容を更に充実させ、多くの人と楽しく学ぼうと張り切っています。定年後の新しい生き方を皆で見つけましょう。熟年研究会はあなたの参加を待っています。

●会の仲間とハーモニカ演奏のグループをつくり、老人ホームなどを慰問演奏しています。楽しい定年後を目指して。(佐藤 弘)

がんばれ！新人編集長

小・中学校PTAの広報委員さんが、編集の苦労や工夫したことを研修会で発表、1年の自己採点をしました。広報紙作りを学んだ編集長を紹介します。



和光美佐子さん (坂本中)

仕事は人間関係。古い資料の整理も時には必要。他学校のよい企画はマネを。



川喜田弘子さん (田尻小)

委員を班分けし紙面ごとに担当、積極的・消極的な組が。写真は先生の協力で。



山名久美子さん (多賀中)

写真を載せ、印刷ができて来ると、こんなはずではないと思いつりにならない時も。



櫻井みち江さん (仲町小)

撮った写真はベタ貼りしコメントをつけ自前印刷。レイアウトや見出しを工夫。



中村公子さん (久慈中)

新聞などよく読むようになりプラス。気負わず自然体で次回は100号。



阿部久美子さん (大久保小)

1号目は前回を参考に。特集用のアンケートのデータ読み込みや処理に苦労。



仲野ますみさん (金沢小)

1学期は去年と同じで無難に。2学期は写真が多く撮れ、先生にも好評。



上田ゆき子さん (諏訪小)

写真撮影は難しく失敗経験がたくさん。縄飛びの風景を撮ったつもりが縄はどこ。



小泉圭子さん (東小沢小)

子どもたちの写真は笑わせて撮るのがコツ。次号は卒業生全員でアットホーム。



大河原秀子さん (宮田小)

予算内で5回発行、3回はワープロで手づくり。運動会写真はバザーで1枚30円。



坂本友紀子さん (駒王中)

予算は16万円。2回は印刷屋、他は手づくり。委員会は毎週火曜日9時30分。



清水美穂子さん (成沢小)

年度始めの1号は前年度の委員が発行。新年度は7月から担当。新委員にゆとり。



渡辺由美子さん (大久保中)

委員相互の意志統一と意見調整が大切。父母の声を載せたタイムリーな情報を送りたい。



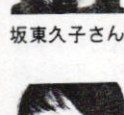
額賀富子さん (久慈中)

前回と同じものであるような風習があり、おさなりの広報紙になりがち。難しい。



坂東久子さん (豊浦小)

自由に無理せず、仲間の才能を大切に。学校に行く機会が多く、子どもや先生の本当の姿に会える。



滝口恵子さん (台原中)

ワープロで版下づくり。パッチワーク方式で編集。「父よ、母よ、先生よ」の一行句は反響あり。



黒田悦子さん (水木小)

写真が苦手。広報の腕章で堂々と撮れるように工夫。多く撮った写真は掲示し早い者勝ち。

新しくなりました 小平記念館へどうぞ

日立製作所日立工場敷地にある小平記念館は、1956年に建設され40年経たことから、昨年10月展示内容の全面改装を行いました。

記念館の性格から、小平さんを偲ぶ展示、日立製作所の製品・技術の歴史は勿論ですが、加えて日立市の歴史の小コーナー、小平奨励賞・ヤングボランティア賞の紹介や、60歳以上の日立市民にも開放されている大みかゴルフ場のこと、日立交響楽団、野球、サッカー等、文化、スポーツ面までの情報を、パネル、ジオラマ、映像などでわかりやすく、展示、説明しています。企業の、地域との関わりに対する意気込みが感じられる展示内容になっており、一般市民にも開放されています。

見学申込み 日立工場庶務課
21-1111 [工場休日は休]



歴史がわかる資料がいっぱい

百年塾フォーラム 働く人たちのつとめ 私のボランティア

働きながら様々なボランティアをしている人がたくさんいます。企業部会では、既に活動をしている人たちと情報交換をしながら、働く人たちのボランティアの輪を、さらに広げるためにフォーラムを開催します。活動している方、これから始めたいと思っている方、どなたでもご参加ください。

- とき 3月26日(水) 午後6時30分～8時30分
- ところ 日立シビックセンター2階 多用途ホール
- 参加者 先着100名(参加費無料)
- コーディネーター 長谷川幸子さん
茨城大学生涯学習教育研究センター 助教授

- 発言者 鬼丸俊光さん(日立研究所新築部) 高橋 京子さん(日立地区BBS会)
- 和田武士さん(株・ポルベック伊勢老日立店勤務) 渡部こずえさん(ボランティアサークル「ハニービー」)

[申込み・問合せ 百年塾サロン 24-7744]

ここにもこんな出あい

親子ふれあい教室

1月21日、多賀公民館で3～4才児とお母さんの親子ふれあい教室が開かれ、親子で走ったり飛んだり楽しく運動をしました。

「一人で子育てをする不安をとり除くことができます」「近所に同年代の子どもがいないので、たくさん子どもたちと遊ばせることができうれしい」「3回なので、子どもが慣れた頃に終わってしまうのが残念です」などと評判は上々です。お母さんも子どもたちにもいい出あいがあるようです。

講師の関三恵子さん(市民教授)は、「近年、子どもたちの運動能力

がだんだん落ちています。もっと広い場所で思いっきり運動させてあげたい」と、施設が不足していること



を指摘されました。公民館のほか、市内のコミセンなどでも子育て中のお母さんの学習や自主グループづくりなどの支援が続けられています。

パソコン教室

2月から視聴覚センターで、内藤達郎さん(市民教授)を講師にパソコン教室が開かれています。参加者は高校生から年配の人まで男女さまざまです。パソコンを買ったが使い



こなせないのがで覚えない、仕事や将来に活かしたい、あるいは楽しみのひとつにしたいなど、それぞれの思いで意欲にあふれています。

内藤さんのゆっくりと丁寧な指導で、初心者への不安や機器に対する苦手意識が消え、参加者同士が教え合う学び方が、いつの間にか皆が旧知のあいだがらであったような楽しい雰囲気をつくり出して行きます。モ

エコ・ショップを みんなで利用しましょう

- エコ・ショップは、環境にやさしく、環境に配慮したお店をいいます。
- エコ・ショップを広く市民にPRし、環境にやさしいライフスタイルを進めます。

●エコ・ショップ認定店を募集!

- 次のような取り組みをしている店
 - 1 簡易包装の推進
 - 2 買物袋等持参の促進
 - 3 空き缶、空きビン、紙パック(牛乳パック)、トレイ、ペットボトルの店頭回収
- ★申請手続きなど詳しいことは、ごみを減らす課へ ☎(21)5374